

J H F 理事会議事録

日 時： 2006年4月18日(火) 11:00~17:00

場 所： J H F 事務局会議室（豊島区巣鴨 3-39-4 東都ビル 2F）

1. 議長・議事録作成及び署名人指名

議長： 北野正浩 議事録署名人： 大沢 豊 下村孝一

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】荒井健雄 大沢 豊 菊池守男 北野正浩 下村孝一
城 涼一 西ヶ谷一志 松田保子

欠席【理事】中島吉徳

【監事】對馬和也

（出席理事8名、欠席理事1名。今理事会は定足数を満たし成立した）

3. 会長挨拶・各理事一言

下村会長： 会議に先立って各理事から一言ずつ頂くことになっています。松田さんから順番にお願いします。

松田理事： 東野さんに、月に3~4回事務局に来ていただき、広報の実務例えば新聞に情報を発信するなどを手伝っていただけたらと思っています。そのための委員としての活動経費を承認いただきたいと思います。

菊池理事： スクール通信はとても良かったので、これからも広報の方に頑張ってもらって、内容を充実させていただきたいと思います。

西ヶ谷理事： 教員・スクール事業委員会をきっちりと軌道に乗せたいと思っていますので、荒井常任理事や委員のお力をお借りして頑張りたいと思います。

荒井常任理事： 会員減少に歯止めをかけ、更に増員させるアイデアがいっぱいあるので、それに全力を尽くしたい。

北野常任理事(議長)： 来月はHGクラスV・女子世界選手権のチームリーダーとして出発します。大会での選手の自己負担は大きなものがありますので、少しでも助成できるような状態にしていきたい。そのために会員を増やし、もっと経費の節約に努めたい。

大沢副会長： 2007年HG日本選手権の開催地を、自治体の協力も得てなんとか早く決めたいと思っています。予算が少ないので、引き受け手がいるかどうか心配です。

下村会長： 会長をお受けする際に、大きな問題以外は、できるだけ全員の合意で進めたいと宣言しました。今回のポスターについては対立的提案と私は受けました。西ヶ谷理事

は才能があつて素晴らしいと思いますが、このような面が時おり見受けられますので、少し注意を促したいと思います。

4. 審議事項

第4-1号議案 6月総会日程と議題について

別紙の提案について、次のとおり修正が加えられた。

- ① 議題4.「理事の解任について」を「理事の辞任について」と修正
- ② 議題に選挙管理委員の選任を加える

修正の上採決し、6月総会日程と議案は【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、下村、西ヶ谷、松田

付帯事項：

予め質問を募って、積極的に答える総会にする
担当者はQ&Aを用意する。

下村会長 → 予算、共済会、保障制度、JPA

大沢副会長 → ハンググライダー競技委員会

荒井常任理事 → 教員・スクール事業委員会

松田理事 → 広報出版部、JHF レポート

西ヶ谷理事 → パラグライダー競技委員会

第4-2号議案 欠席の多い理事の解任について

議長： 今朝中島理事から辞任届けがありましたので、この議案は削除します。

第4-3号議案 安全性委員の追加選任

安全性委員会の定員は6名で、2名の追加選任枠があった。従って前理事会で伊尾木氏と鈴木氏を調整する必要はなかったことが報告された。

このため伊尾木氏を希望通り、安全性委員に選任することで再審議した。

採決の結果、【賛成6 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、下村、西ヶ谷、松田

第4-4号議案 技能証効力の距離制限廃止について

前回理事会で、技能証の効力を距離によって制限することを廃止し、制度委員会にこれに伴う技能証規程改定を諮問した。この議案は、理事会諮問にたいする制度委員会からの答申について決定を求めるもの。

念の為西ヶ谷理事に精査してもらった上で、次回理事会で審議することとした。

第4-5号議案 PG 競技委員会の事業について

岡競技委員長から別紙のとおり『パラグライダー競技と記録飛行についての事業計画』について説明があり、そのための予算が申請された。

同事業計画は日本に於けるハング・パラの統括団体として、FAI/CIVLの活動計画に沿うものであり、またJAAの期待にこたえるもの。

また競技者の便宜を図り、大会運営者に協力することは、ハング・パラグライディングの普及振興につながるものとの説明があった。

続いてアキュラシーターゲットの利用法、今年9月開催予定のCIVLアジア地区アキュラシージャッジセミナーについて、各理事の質問に答える形で説明した。

採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、下村、城、西ヶ谷、松田

予算の執行に当たっては、事務局と打ち合わせの上、業務委託契約等作成し執行することが付帯された。

第4－6号議案

教員・スクール事業委員会委員長の変更と委員会開催の承認を求める

西ヶ谷理事： 委員長を最終的に岩橋さんをお願いし、ご本人の了解もいただきましたのでご承認願いたいと思います。

採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、下村、城、西ヶ谷、松田

委員会開催は理事会承認ではなく、予算内で担当理事と会長で判断する。

第4－7号議案

パラフライヤー団体障害保険（JHF総合保障制度）の契約を求める

下村会長からフライヤー団体傷害保険について、別紙のとおり説明した。

採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、下村、城、西ヶ谷、松田

第4－8号議案 無線についての総務省監修ポスターについて

西ヶ谷理事： 2月理事会で承認されていましたが、総務省の確認が必要で、4月のスクール通信に載せられませんでした。JHFとして配布したいので、もう一度審議していただきたいと思います。このポスターだと愛好家に誤解を招くのではないかという会長のご意見があるのですが、少なくとも総務省が監修しており、スカイレジャー無線を使いましょう、アマチュア無線は免許を取って使いましょうということは当たり前のことだと思っていますので、これを発表したらどうでしょうかというのが私の意見です。

下村会長： このポスターが不誠実だと思うのは、スカイレジャー無線を一般のフライヤーが利用しようとして受け取られることです。従ってそのような誤解が無い様にしなければならない。例えば、アマチュア無線については、●の注意書きが七つ入っているが、スカイレジャー無線機を使うに当たっては、このような注意書きがありません。

これはいかにもスカイレジャー無線を一般のフライヤーに使わせようという意図が出ています。そのことについて、何度も総務省と話をしてくれと言ったのですが、「出来ません、総務省はノーと言っています」との返事。ところが西ヶ谷理事は取り次いでいない。スカイレジャー無線を一般フライヤーにも勧めるということは、フライヤーに更に数万円の負担を掛ける。そういうことをJHFは推奨していると誤解されます。全員の合意で行きたいと言っているのに、あなたは対立的な提案をして来ています。

西ヶ谷理事： 私はこの文章が正しいと思っており、そこに意見の違いがあるから、ここで皆さんに決めてもらえばいいと思っているのです。

下村会長： 欠陥商品を、私は売れません。総会で指摘されてなんと答えますか。あなたは「総務省が決めた」と言うでしょう。あるいは「理事会で決めて発行しました」とそれでいいでしょうが、私はそういう言い方は出来ない。このポスターでは間違いなくそういう質問がくる。

休憩後再開

西ヶ谷理事： このポスターについては、会長の意見を反映出来ずに妥協してしまいました。話し合いしても仕方ないと思ってしまったので、このテーブルに出して皆さんに議論してもらおうと思ったその方法がいけなかったのだと思います。それは申し訳ないと思っています。

議長： そういうことで、次の議案に移ります。

第4-9号議案 ハンググライダー競技委員会の事業について

大沢副会長からハンググライダー競技委員会の予算について提案した。

クラスV、女子世界選手権合同チーム助成金 10 万円、ハング競技委員会のホームページ関係で 5 万円、合計 15 万円の予算の承認を求める。

採決の結果、【賛成 7 反対 0 棄権 0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、下村、城、西ヶ谷、松田

世界選手権出場者は、一般フライヤーのために講演をする等、帰朝後大会派遣の成果を還元する必要があると意見があった。

第4-10号議案 パラグライダー優良スクールサイトの検収

来ているデータを入力し、仕様書、マニュアルを付けて事務局に納品する。見積もり金額は、Yahoo 登録 5 万 2 千円を引いた 47 万弱。順位を上げる SEO 対策は西ヶ谷理事に無料でやってもらう。この条件での検収に賛成の方は挙手願います。

採決の結果、【賛成 6 反対 0 棄権 1】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、下村、城、松田

棄権： 西ヶ谷

第4-11号議案 技能証申請手続きの変更

身分証明は、住所が確認できるものであれば良いとし、写真が添付されていない場合はプリントしないことにする。このことをスクール通信に掲載する。

採決の結果、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、下村、城、西ヶ谷、松田

5. 協議事項

協議事項5-1 2005年度事業報告と決算報告

担当理事と相談の上、事務局で作成することを確認した。

協議事項5-2 2006年度事業計画

担当理事がそれぞれの委員会・部の計画をまとめ、事務局で全体の形式を整えることになった。

協議事項5-3 JHF技能証の改善について（審議事項に変更）

JHF技能証の呼称および体系を、別紙の理由により改定すべきであると荒井理事から提案した。協議の結果、審議事項に変更した上で採決した。

第4-12号議案 各技能レベルの呼称と内容構成を変えるということについて

【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、下村、城、西ヶ谷、松田

第4-13号議案 パラグライディング教本の改定

第4-12号議案に関連して採決し、【賛成7 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 荒井、大沢、菊池、下村、城、西ヶ谷、松田

教員・スクール事業委員会で、教本改定のための具体案を検討することを確認。

協議事項5-4 補助動力技能証の今後の方針について考える

下村会長から別紙のとおり提案があり協議した。

早急に結論を出すことは難しいので、今後の課題とした。また補助動力委員会の意見も十分聞くことにした。

協議事項5-5 事務局内ネットワークの再整備について

北野常任理事から別紙のとおり説明した。

事務局内ネットワークの再整備について、データベースとは別に予算が必要。パソコンや周辺機器の入れ替えを含め最大で100万円程度で考えている。

協議事項 5-6 第3回スクール・クラブ通信の内容について

スクール・クラブ通信の内容と今後の方針について協議した。
同通信は1回/月を目標に発行する。
紙数が増えてきているので、壁新聞形式に段々と発展させていく。
事故対策マニュアルを作成する。

6. 報告事項

別紙報告事項について、各担当者からそれぞれ報告し了承された。

- ※ フライヤー有効会員数は、これまでのシステムからの転記を改め、実績を手入力することに改める。これにより 2006年3月実績は、13,925→14,413 訂正されることになった。

この議事録が事実と相違ないことを確認し署名・捺印する。

議 長 _____
(北野正浩)

署名人 _____
(大沢 豊)

署名人 _____
(下村孝一)

議事録作成人： 桜井加代子